

## 入居企業紹介 その83

SICに入居されている企業をご紹介します。

SIC-1 316  
株式会社 ザック

### 「プリント基板の技術サポートカンパニー」



#### 【代表プロフィール】

株式会社ザック  
代表取締役 野地 欣久 (のじ よしひさ) 50才  
東京都生まれ 相模原市緑区在住

自転車に乗ることが大好きです。毎朝5時30分に起床し、1時間走っているそうです。最近は、料理も息抜きの一つに加わり、調味料やトッピングにこだわって楽しんでいます。炊飯器が壊れたのを機に圧力鍋でお米を炊くようになり、お米のおいしさに改めて目覚めたとか。悩みの種は、たくさん食べてしまうので、たくさん走っても、なかなか体型を維持できないことだそうです。

#### 【起業しようと思ったきっかけは？】

文系の学部を卒業後、学校事務員や美術館リーフレット等の編集会社を経て、プリント基板関係の薬品商社に就職しました。薬品については初心者でしたが、「勉強する気になればなんでもできる会社」という社長の言葉に魅かれ、営業担当として働きながら知識を蓄えていきました。

当時、その商社ではアメリカより輸入した薬品を販売していました。残念ながら日本のプリント基板工場の仕様に合わなかったようで、販売するたびにクレームの嵐でした。謝罪のため、全国に出張したことが今でも忘れられません。既に顧客のニーズは把握していたため、自社で薬品開発をすることになりました。その時プロジェクトチームのリーダーに任命されたのが薬品製造への第一歩でした。

薬品開発には半年以上かかりました。しかし、製造しながらお客様にテスト使用していただき、ご意見などをまた製品に反映し…ということを繰り返していくうちに、製品の完成度は高まってきました。

その会社では、5年間社長を務めました。その間に社長就任時に目標に掲げた売り上げを達成し、後継者も育ちました。

かねてより、プリント基板関係の専門的な薬品開発を中核とし、製造工程全般のサポートをしたいという思いを持っていたため、良い頃合と判断し、起業しました。

#### 【事業紹介】

当社ではプリント基板関係の薬品開発を行っています。具体的にはドライフィルムを剥離する工程で使用する添加剤や、洗浄剤などです。最近では液晶の製造に使う剥離剤も研究・開発しています。また、海外でのプリント基板工場で発生する廃液の廃棄物関連法改正に伴う処理方法の提案や、コスト削減の提案などを行っています。

薬品は大量に作らないと、なかなか儲けの出ない製品です。しかし、製造過程で出てくる様々な問題点を突き詰めていく中で、専門性が出てくると考えます。大量生産しお客様に合わせてもらうのではなく、お客様の希望に合わせた研究・開発・提案を行い、ご満足いただけるようにしています。

#### 【課題となっていること、苦労していること】

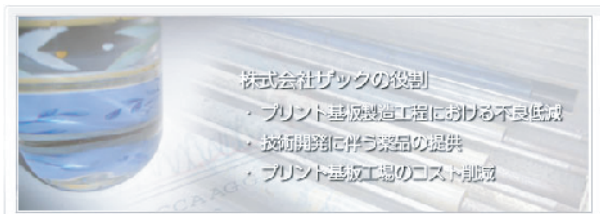
プリント基板業界は先行きが不鮮明です。製造する場所はどんどん海外に移転し、国内の生産量は10年後には30～35%まで減るのではないかと考えています。しかしそれに伴い、日本の基板メーカーの海外工場での薬品の現地調達も進み、日本企業の好みを知る薬品商社が必要になってきます。

チャンスは必ずあるので、それを活かせるように人員を増やしていくことが課題です。

#### 【これからの夢または目標は？】

自社の研究所や小規模なテスト工場を持ち、お客様の改善要望にリアルタイムで答えていきたいです。

また、現在は秘密保持契約や契約書の関係で、社名の出せない仕事がほとんどなので、「こんなものを作っているんだ」と社名が広く認知されるような自社製品を開発していきたいと思っています。



株式会社ザック  
SIC-1 316  
TEL:042-770-9906  
URL:www.zach.jp



※社名の由来：「ZACH」という社名は、Z（アルファベットの終わり）、A（アルファベットの始まり）、CHemical（化学）を組み合わせ、「終わりなく化学に挑戦していく」という意味がこめられている。



# 入居企業トピックス

## ● 今月の掲載記事紹介

7・8月の新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。ご紹介する記事は、SIC-1 と 2 に掲示していますので、どうぞご覧ください。

7月 20日 (水) **アイフォーコム株式会社**  
日本経済新聞 「iPod タッチを活用した教育機関向け学生指導支援システムを発売」

8月 8日 (月) **株式会社アービス**  
神奈川新聞 「楽しく、心伝わるコミュニケーションツールを提案」

11日 (木) **株式会社エーセル**  
神奈川新聞 「細胞ビジネスで急成長」



## 入居企業の皆様へご案内 9月の販売予定日 in SIC

くるまかふえ **Sky Days** <http://skydays.net>



パン・飲み物ともに  
なくなり次第終了です。

2日 (金)  
9日 (金)  
16日 (金)  
30日 (金)

営業時間 11:30 ~ 16:00

**かわせみの家** <http://17.ocn.ne.jp/kahasemi/>



クッキーやケーキを販売します。

8日 (木)

営業時間 11:00 ~ 12:00

なくなり次第終了です。

# SICからのお知らせ

## 津久井森林体験教室 2011 について

今年も津久井森林体験教室を開催します。  
津久井青根フィールドワークと里山散策路づくりをぜひご体験下さい。

- 開催日時：平成 23 年 10 月 2 日 (日) 8 時～17 時 30 分
- ◆集合場所：橋本駅南口
- 講師：佐藤 好延 氏 (有限会社サトウ草木 代表取締役)  
有限会社サトウ草木 スタッフの皆さん
- ◆参加費用：大学生/社会人 2,000 円  
※バス代、保険料、昼食代が含まれております。

- 募集人数：50 名 (申込者多数の場合は抽選)
- ◆当日のタイムスケジュール

- 8:00- 9:00 バス移動 (橋本駅→青根)
- 9:00-12:00 津久井青根フィールドワーク  
(水源地・青根集落めぐり、座禅体験)
- 12:00-13:00 昼食 (青根小学校)  
※昔ながらの青根手打ちうどん
- 13:00-16:30 里山散策路づくり  
(散策路、ベンチ、階段づくり)  
青根草木館見学  
※雨天の場合：間伐材で作る木工体験
- 16:30-17:30 バス移動 (青根→橋本駅)

- お申込み：チラシの裏面の申込票に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込み下さい。チラシはロビーにございます。

**FAX 番号 042-703-8536**

- ◆応募締切：平成 23 年 9 月 15 日 (木)
- 主催：相模原市 / (株) さがみはら産業創造センター / 公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム
- ◆お問合せ：公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム  
さがまちコンソーシアム大学事務局  
相模原市南区文京 2-1-1 相模女子大学内  
Tel 042-747-9038 Fax 042-703-8536

# 2011 年 9 月

【今月の経営スケジュール (3月期決算の会社参考)】

経理：8月源泉税・地方税納付、給与計算・試算表作成

「かわせみの家」さん出店日

「Sky days」さん出店日

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1 SIC 夏まつり 会議室 11 月分 予約受付開始 SIC-1 ガラス清掃	2	3
4	5 *SIC-1 エレベーター点検	6	7	8	9	10 経営塾 SIC-1 床面定期清掃 *SIC-2 エレベーター点検
11	12 SIC-2 フィルター清掃	13 リーダー塾	14 SIC-2 ガラス清掃	15 SIC-2 消防設備点検	16 SIC-1 フィルター清掃	17
18	19 敬老の日	20 SIC-2 空気環境測定	21	22	23 秋分の日	24
25	26 SIC-1 消防設備点検	27	28 台湾研究会	29	30 リーダー塾 	1 経営塾 会議室 12 月分 予約受付開始

\* エレベーター点検 9:30~11:30の間はご利用になれません。 お問い合わせは 生井 (内線 1116) まで

SIC の WEB サイトでもご覧頂けます。

# 証言で綴る SIC の歴史 ～ さがみはら子どもアントレプレナー体験事業 ～

さがみはら子どもアントレプレナー体験事業も、皆様に支えられ10回目を迎えました。そこで今回は、事業創設に携わった方の証言をもとに、子どもアントレの歴史を振り返ります。

## 相模原市消防局消防総務課 主査 植村 哲哉

平成9年に相模原市経済部産業振興課に配属され、部内の若手職員で非公式のワーキングを開き、産業に係る人材育成をテーマに話し合ったところ年代的に小中学生が参加できる事業が少ないと感じたのが、そもそものきっかけです。

縁あって、平成12年10月からSICで仕事をする事になり、そこでスタッフの安藤さんと出会いました。私のぼんやりとした「思い」と安藤さんの人脈、行動力が合わさり、「子ども向けの起業家教育事業」の企画が少しずつ形になり始めました。

基本的なプログラムは早い時期からアントレプレナー教育をスタートさせていた株式会社セルフウイングから提供



オリエンテーション (H15)



子どもアントレイメージキャラクター



グループワーク (H15)

を受けること、親元から離してキャンプ形式で開催すること、商品を販売する場所の選定など、企画が見えてきたので「子どもアントレプレナー体験事業」の企画書を書きました。宿泊費、食費相当額を参加費として、それ以外に200万円程必要でした。

当時の里見専務に企画書を見せたところ「事業費はSICからは出せない」と言われ、「市内企業から協賛金を集めます!」と勢いで返事をしました。他に方法が思いつかなかったのです。その時は、200万円もの協賛金が集まるあても無く企画書はそのままお蔵入りになることでしたが、専務がSIC初代社長の松井さんに協賛をお願いしてくれたのです。すると、松井さんはその場で事業が実現できる額の協賛を約束してくれました。本当に驚きました。実現できる!という喜びと、本当にできるのだろうか?という不安とが入り混じった気持ちでした。

SICでは協賛金で事業はできないので、実行委員会を立ち上げ、協賛依頼の用紙など必要な物を買うため最初に自ら協賛し、それを原資に準備を始めましたが、応募があるのかなど本当に不安な毎日でした。

松井さんの協賛だけでも事業はできましたが、より多くの市内企業経営者の方が支援する起業家教育事業を目指し、

## 私の好きな漢字

前月号まで、SICスタッフのコラムを掲載しておりましたが、今月号より、SIC入居企業スタッフの皆様を紹介してまいります。

題して『私の好きな漢字』。スタッフの方にお好きな漢字は何かを、その理由とともに伺います。

第1回目はSIC-2 704号室に入居されている、有限会社G-Thinkの小松さんにインタビューしました。

尙G-Thinkとは、アイシンク(株)という、プロジェクトの成功に向けたトータルサービスを行う企業のサポート業務を行う会社です。

アイシンク(株)では講座を多く開催しています。小松さんはそれらの講座が滞りなく進行するように、様々なことに気を配っています。

具体的には、テキストや資料の改定・印刷、小道具等の準備や発送などを行っているそうです。

好きな漢字は『和』。

毎日を家族と楽しく和やかに、平和に暮らしていきたいからとのこと。また、和菓子が大好きなことこの漢字を選んだ理由だとか。

和やかに暮らすための秘訣は、いつも明るく笑顔でいること。

そして、何かあったらすぐに感じ取れるように、ご家族

## 【 有限会社 G-Think 小松 まさみ さん 】

の外出時・帰宅時には、お見送りやお出迎えを欠かさないことだと教えてくださいました。

二人の息子さんの話を聞いている時が一番和むという小松さん。インタビュー中も素敵な笑顔で、和やかな雰囲気醸成していらっしゃいました。



夏には欠かせないという、好きなわらび餅



企画書を持って多くの市内企業を訪問しました。現在SICの役員の方を含め、多くの方の熱意で、協賛金は280万円程になりました。SICに入居していたスタジオハーツの田村さんがイメージキャラクターをデザインしてくれたり、お金ではない形での協賛もありました。

応募があっという間に定員オーバーになったのは驚きでした。逆にプレッシャーもありましたが、なんとか当日を迎えることに。

移動も多く、炎天下での活動もあったので、とにかく子どもたちの安全管理には特に気を配っていましたが、段取りが悪く、自分があちこち走り回っているうちに軽い熱中症になったりしました。

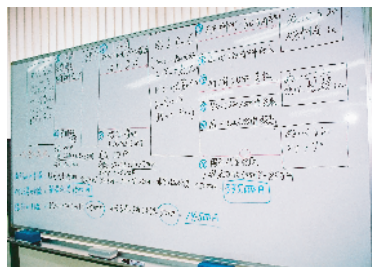
決算が終わり解散するとき、保護者が迎えにきたのに4年生の子が1人いません。慌てて自宅までの間を走り回って探しました。「一人で帰ってきましたよ」と、後からご家族から電話があり、胸をなでおろしたことも。親元を離れて「なんでも自分でやる」ことを経験し、一人で帰れると思ったんでしょうか…。本当に恥ずかしい話ですが、今でも、何もなくて良かったと思います。

イメージキャラクターは、男の子は私がモデル、女の子はその年の4月に生まれた私の娘がモデルです。私は、1年半という短い期間でSICを離れることになりましたが、「娘が参加できる年齢になるまで続けてほしい」と遺言を残しました。でも、まさか本当にここまで続くとは思っていませんでした。それも進歩しながら。この事業に関わった多くの方々の努力と熱意があっただとと思います。

子どもアントレを最初に考えたとき、最終的な成果目標がありました。それは、参加した子どもたちが成長し、市内に就職し、今度は支援者になることです。そして彼らの子どもが参加することで、相模原にアントレプレナーの輪が広がると。欲を言えばこの参加した子がSICで起業した！なんて夢みたいですが、最高ですね。



商品製造 (H15)



銀行の役割についての講義内容 (H15)

商品販売 (H14)

## SIC のおすすめ Shop レポート

今回は毎週移動販売に来ている、「くるまかふえ Sky Days」さんをレポートします。

オーナーの土橋さんは小さい頃から喫茶店を開くのが夢で、2年前より車での移動販売という形で夢への第1歩を踏み出しました。地域のお祭りやフリーマーケット、個人宅への出張サービスなど、様々なところで出店されています。



お店では、体に良くおいしいものしか出したいくないというこだわりを持つ土橋さん。エスプレッソの豆は有機栽培のものを、パンは自家製天然酵母「カリメーラ」さんのものを仕入れています。

■営業日 SIC カレンダーをご参照ください ■営業時間 11:30~16:00 ■URL <http://skydays.net>

## くるまかふえ Sky Days

ちなみにエスプレッソはいつも決まった銘柄ですが、ドリップコーヒーは日によって異なるそうです（最近モカブレンド）。

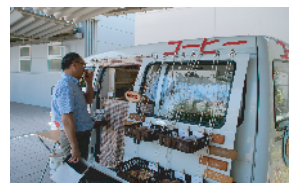
エスプレッソもコーヒーも、注文を受けてから豆を挽き、一杯ずつ丁寧に淹れてくれます。

カフェラテ・カフェモカ・カプチーノなどの他、チョコミルクホイップ等、コーヒーの入っていないメニューもあります。

「ミルク多めに」や、「氷を少なめに」など、リクエストもOKです。

今の季節に嬉しいスムージー（ブルーベリー+ヨーグルト）やロックエスプレッソ（エスプレッソに氷を入れたもの）も限定販売中です。

SIC-1 と SIC-2 の連絡通路に出店しているので、お好みの味を見つけてみてはいかがでしょうか。



## 編集後記

吹く風や空の色に秋の気配を感じるようになりました。最近の楽しみは、空を見上げ秋の雲を探すことです。すじ雲、いわし雲、ひつじ雲……。まだまだ暑く蝉も元気ですが、雲を見ているだけで涼しくなる気がします。行く夏を惜しみつつ、来る秋を楽しみにしたいと思います。

三露

★ご意見・ご感想をお待ちしています。(株)さがみはら産業創造センター(SIC) 〒252-0131 相模原市緑区西橋本 5-4-21  
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ: <http://www.sic-sagamihara.jp> E-mail: [koho@sic-sagamihara.jp](mailto:koho@sic-sagamihara.jp)